

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (教育学)	氏名 Author	AREEJ TALEA ALMUTAIRI
学位授与の要件	学位規則第 4 条第①・2 項該当		
論 文 題 目 Title of Dissertation	A Proposed Framework for a Post-secondary Education Program for Students with Intellectual Disability at a University in Saudi Arabia: Program Components, Organization, and Evaluation		
論文審査担当者 Dissertation Committee Member	主 査 Committee Chair 教授 川合 紀宗 印 Seal 審査委員 Committee 教授 吉田 和浩 審査委員 Committee 准教授 櫻井 里穂 審査委員 Committee 教授 永田 良太 (人間社会科学研究科日本語教育学プログラム) 審査委員 Committee 助教 Abeer A. Alharbi (The School of Education, King Saud University)		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review	<p>本博士論文は、サウジアラビアの高等教育機関で知的障害学生を受け入れるためのプログラム開発や合理的配慮の在り方を明らかにすることを目的とし、知的障害学生の受入実績がある米国の大学で障害学生支援に従事する教職員に対して調査を実施し、入試や就学・修学支援体制、カリキュラム内容、卒後支援の内容等を検討した上で、サウジアラビアの高等教育機関における受入プログラム案を作成し、その実施可能性について検討したものである。第 1 章では、本研究の背景、研究目的、研究設問及び仮説を述べた。第 2 章では、障害の社会モデルに基づく本研究の理論的枠組み、障害者支援に関わるサウジアラビアの文化的背景、インクルーシブ教育の関連法令・制度等に関する文献レビューの結果を紹介した。第 3 章では、方法として、研究デザイン、研究参加者、アンケート調査・インタビュー・参与観察、データ分析方法について説明した。第 4 章では、調査研究の結果・考察として、知的障害学生対象の高等教育プログラムの目的や内容、実現可能性に関する調査結果を検討した。第 5 章では、提案したプログラム案についての具体的な内容を、本研究の理論的枠組みと調査データ分析の結果に基づいて提案した。第 6 章では本研究の結論として、本研究で提案したプログラム案と理論的枠組みの関係、プログラム案を導入する際の留意点、限界点及び今後の展望について説明した。本論文は、これまでサウジアラビアでは取り上げられなかった、知的障害者の高等教育機関での学びの在り方を考察する上で意義を有するとして、審査委員一同から高い評価を得た。なお、本論文の一部は既に 3 編の査読付論文 (①Almutairi, A., Kawai, N., &amp; Alharbi, A. (2020). Faculty Members' and Administrators' Attitudes on Integrating Students with Intellectual Disability into Postsecondary Education. <i>Exceptionality</i> (online). DOI: 10.1080/09362835.2020.1727330. ②Almutairi, A., &amp; Kawai, N. (2019). Interagency cooperation in inclusive higher education for persons with intellectual disability: A literature review. <i>Alexandria Journal of Education</i>, 29(6), 1-23. 他 1 編) として刊行済である。</p> <p>以上、審査の結果、本論文の著者は博士 (教育学) の学位を授与される十分な資格があるものと認められ、審査委員一同の合意の下に合格と判定した。</p>		